

バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策

有限会社白馬交通

〈バス会社〉

バス車内の対策

- ・乗務員のマスク着用の徹底。
- ・エアコンによる排気、外気導入及び、運行に支障がない程度の窓開け等により車内換気を行う。
- ・運転席と乗車席との間に感染防止対策としてビニールシートを設置。
- ・手指消毒液、乗務員用使い捨て手袋等の搭載の確認。
- ・乗客の降車後に、窓を開けて換気する等の車内換気に努める。
- ・バス車内の一部座席（一列目）の使用を禁止することにより、乗客と乗務員、乗客同士の間隔を空け、乗客と乗務員が安心できる車内環境を確保するように努める。
- ・ドアノブ、スイッチ類、座席、手すり等の消毒液での洗浄、消毒を行う。

乗務員への対策

- ・検温・健康チェック表による健康状態の確認。
- ・始業点呼時に体温測定を行い、37.5度以上の発熱や咳等の症状のある者は、乗務を禁止させる。必要であれば医療機関を受診させ体調が回復するまで自宅待機とする。
- ・始業点呼時にマスクの着用や手洗いの励行等の感染防止対策が取れていることを徹底するとともに、運行管理者は安全が確保できるまで、乗務を一時中断させる。

〈お客様〉

乗客へのお願い

- ・バス車内ではマスクの着用をお願いします。（無い場合は乗務員まで→予備マスクを着用）
- ・発熱（37.5度以上）のある場合や体調がすぐれない場合は、乗車を控えてください。
- ・感染者の濃厚接触者や過去14日以内に政府から入国制限をされている国、地域への渡航歴がある方は乗車をご遠慮ください。
- ・乗車の際に手指消毒をお願いします（出入り口にアルコール消毒液あり）。
- ・お客様同士や乗務員への会話は最小限をお願いします。
- ・当面の間、バス車内カラオケの利用はお控えください。
- ・他の乗客との距離を可能な限り空ける（1名2座席利用、前後1列を空ける）とともに、後部座席に着席可能である場合には、後部座席に乗車するようお願いいたします。
- ・車内で出たゴミは各自で処理し、持ち帰りのご協力をお願いします。

※日本バス協会新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（第1・2・3・4版）を参考に作成しております。